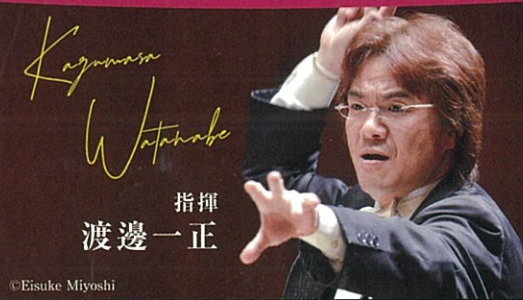


九州交響楽団

岡山公演

2023 **12/20** 水 開演 18:30 岡山シンフォニーホール
(開場17:30) 大ホール

グリンカ／歌劇「ルスランとリュドミーラ」より 序曲
伊藤康英／アルト・サクソフォーンと吹奏楽のための幻想的協奏曲(管弦楽版) ※世界初演
A.リード／春の猟犬(管弦楽版)[A.リード監修]
マンジオーネ／サンチェスの子供たち
バーンスタイン／映画「ウエスト・サイド・ストーリー」より マリア
コンティ／映画「ロッキー」より テーマ曲
チャイコフスキー／幻想序曲「ロメオとジュリエット」



◆ チケット(税込)
S席 4,000円 A席 3,000円
B席 2,000円 学生料金 1,500円
(全席対象)

🚻 車椅子席(限定10席) 2,000円
※九響チケットサービスのみの取り扱いとなります

👥 団体席(B席) 1,000円
※10名様以上のご注文で団体割引いたします
※九響チケットサービスのみの取り扱いとなります

◆ チケット発売 10/17 火
先行発売 10/11 水
九響コンサート会員
岡山シンフォニーホール友の会会員
岡山音協会員

◆ プレイガイド
岡山シンフォニーホール
チケットセンター
TEL.086-234-2010 (受付時間 10:00~18:00)
FAX.086-234-2003 (岡山シンフォニーホール「友の会」提携)

岡山芸術創造劇場 ボックスオフィス
TEL.086-201-2200 (受付時間/10:00~18:00)

岡山音協 TEL.086-224-6066
(受付時間/平日9:00~17:00)

チケットぴあ Pコード 242-647 取扱いはWebのみ
<https://t.pia.jp>

ローソンチケット Lコード 61462 取扱いはWebのみ
<https://l-tike.com>

九響オンラインチケット
インターネットで24時間受付

●システム提供
イーディックスデータファーム 九響 検索

九響チケットサービス TEL.092-823-0101
(受付時間/平日9:30~17:30)
ご自宅まで送料無料でチケットを郵送致します

2022年6月に大好評を得たオーケストラ×吹奏楽コラボ企画の再演♪
サクソフォーン須川展也、トランペットエリック・ミヤシロと共演いたします!

指揮 渡邊一正

Kazumasa Watanabe



©Satoshi Mitsuta

東京生まれ。1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルハーモニー交響楽団レジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。1998年にはNHK交響楽団の指揮台に初登場し、それ以後N響とは定期演奏会を始め数多くの共演が続いている。第69回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽:東京交響楽団)と第77回同コンクール・ピアノ部門(管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団)の本選会演奏に対しコンクール委員会特別賞を贈られる。日本国内のオーケストラとは読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団を始め主要なオーケストラに定期的な客演を行ない、その音楽性と指揮に対する信任を確実に得ている。

オペラ、バレエでの活躍も目覚しく、新国立劇場でマスカネ2歌劇「友人フリッツ」を、同劇場バレエ団では「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年の「白鳥の湖」新演出の指揮も任せられ大成功を収めた。

また彼の指揮活動は国内だけでなく、海外でもサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、確実にキャリアを積んでいる。

ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団とハイドンのピアノ協奏曲を協演。1987年から1989年には渡欧し、ダルムシュタット音楽アカデミー、ハンス・ライグラフ教授のマスター・クラスでピアノを学ぶ。その後東京フィル定期、広島交響楽団定期、大阪フィル、札幌交響楽団などのオーケストラと、ペーター・ヴェンのピアノ協奏曲第3番、第5番「皇帝」、ラヴェル、モーツァルト、ガーシュウィンなどの弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。

サクソフォーン 須川展也

Nobuya Sugawa

日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォン奏者。長きにわたり、チック・コリア、ファジル・サイ、坂本龍一、西村朗、本多俊之、吉松隆、長生淳など名だたる作曲家への委嘱を継続。それらの中には既に楽譜が出版されレパートリーとして国際的に広まっている楽曲が多く含まれており、クラシカル・サクソフォンの領域への貢献は計り知れない。作曲家からの献呈作品も枚挙にいとまがない。

N響、都響など国内オーケストラのみならず、BBCフィル、フィルハーモニア管など世界各国の著名オーケストラや、デュツワ、A.ギルバートなどの指揮者たちと共演。ウィーンのムジークフェラインをはじめ、世界各地の檜舞台でリサイタルを行っている。また、これまで30ヶ国以上に招かれ公演やマスタークラスを行っており、管楽器の魅力を若い世代に伝える活動を精力的に継続している。

東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。出光音楽賞、村松賞を受賞。98年JTのTVCM出演、02年NHK連続テレビ小説「さくら」ではテーマ曲を演奏。

これまでに約30枚のCDをリリース。最新CDは自身初の無伴奏作品となる「バッハ・シークエンス」(令和2年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞)。2014年に自叙伝「サクソフォーンは歌う!」を、また2021年に「絶対! うまくなる サクソフォーン100のコツ」を刊行。

89・10年まで東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスター、07・20年までヤマハ吹奏楽団常任指揮者を務める。トルヴェール・クワルテットのメンバー、東京藝大招聘教授、京都市立芸大客員教授。



©Toru Hasumi

トランペット エリック・ミヤシロ

Eric Miyashiro

米国ハワイ州ホノルル出身。米国人のプロ・トランペッターの父、日本人のダンサー/女優の母という恵まれた音楽環境の中、ハワイで生まれ育つ。小学生の頃から楽器を始め、中学生からプロとしての活動を始める。ジャズだけではなく中学・高校時代、多数のオーケストラでも活動をし、多くのコンチェルトを演奏。地元の「天才少年」としてテレビ、ラジオの出演依頼が殺到する。噂が広まり、高校3年生でハワイ代表として全米高校オールスターバンドに選抜され、ニューヨークのカーネギーホールにて憧れのメイナード・ファーガソンと初共演を果たす。

高校卒業後、ボストン・パークレー音楽院に奨学金(Maynard Ferguson Scholarship)にて招かれ入学。在学中からボストン市内のスタジオ等で活動する。22歳でバディー・リッチ、ウディー・ハーマンなどの名門ビッグバンドにリード・トランペットとして招かれ、7年間にわたり世界中を回る。

数多くのアーティストのリード・トランペッターとして活動後、1989年来日。すぐにスタジオ、テレビ出演、アーティストのツアーサポートなどを開始。

吹奏楽、オーケストラとの共演を始め、学校講師、クリニック、作曲家、アレンジャー、プロデューサーとしても幅広く活躍し、1995年には国内最高のメンバーを集めたビッグバンド「EM Band」を結成。2013年からは「Blue Note Tokyo All Star Jazz Orchestra」のリーダー/音楽監督。

昭和音楽大学講師、国立音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪芸術大学客員教授、International YAMAHAアーティスト



管弦楽: 九州交響楽団

The Kyushu Symphony Orchestra



1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市「福岡」に本拠地を置く。

初代常任指揮者・石丸寛(現・永久名誉音楽監督)。その後、森正、安永武一郎(現・永久名誉指揮者)、フォルカー・レニッケ、黒岩英臣、小泉和裕、山下一史、大山平一郎、秋山和慶が歴任し、2013年からは小泉和裕が音楽監督を務める。また桂冠指揮者に秋山和慶、名誉客演指揮者小林研一郎を擁する。

アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、中学生の未来に贈るコンサート、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。

2006年から「九響シリーズ」9タイトル、小泉和裕が音楽監督就任後「ベルリオーズ/幻想交響曲」、「ペーター・ヴェン/交響曲第9番」、「マーラー/交響曲第8番『千人の交響曲』」、「マーラー/交響曲第3番」のCDを発売。

これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京2020オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、2015年10月22日「第344回定期演奏会」で演奏した『武満徹/「波の盆」』が使用された。

響き合って未来へ



九州交響楽団
創立70周年



70周年特設サイト <https://kyukyo70th.com>

♪「音で振り返る70周年の歩み」
♪「みんなで作る思い出のアルバム」

♪「九響Question」
♪「フライヤーミュージアム」

♪オリジナルグッズ販売



公益財団法人
九州交響楽団

〒814-0133 福岡市城南区七隈1丁目11-50



九響

<http://kyukyo.or.jp>

